

発行

北海道ポーランド文化協会

〒060-0018

札幌市中央区北 18 条
西 15 丁目 3-19 安藤方

電話・FAX 011-556-8834

ando@high.hokudai.ac.jp

http://hokkaido-poland.com/

POLE

第 86 号 2015. 9. 1

北海道ポーランド文化協会 会誌

北海道ポーランド文化協会

東京事務所

〒107-0052

東京都港区赤坂 9-6-29-309

音響計画株式会社 霜田気付

電話 03-6804-1058

FAX 03-6804-6058

総会 & 祝賀会に

お越しく下さい!

第29回総会・『創立25周年記念誌』出版祝賀会

日時 2015年 10月 17日(土)

総会 16:00～
写真撮影 17:00～
祝賀会 17:15～19:15
祝賀会会費:会員・一般 5,000円、学生・子ども 2,500円

会場 ホテル札幌ガーデンパレス 4F 真珠の間 (札幌市中央区北1西6)

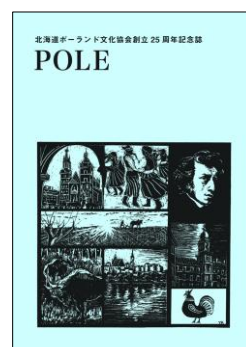
今回は、記念誌の出版を祝って、大勢でにぎやかな会にしたいと思います。ポーランド広報文化センターのブワシチャック所長をお招きしています。札幌在住のポーランドの皆さんも多数ご参加の予定です。

- ※ お問い合わせは、左上の住所/Tel・Fax/e-mail(安藤)あてにお願いします。
- ※ 参加申し込みは、同封の返信用ハガキで10月5日(月)までにお願いします。
- ※ 懇親会は、お子様を含めご家族、お友達、会員以外の方もご参加を歓迎します。お問い合わせでお越しく下さい。
- ※ 祝賀会のみご参加の方も、写真撮影のため17時10分前ころまでにお越しく下さい。
- ※ 遠方からのご参加も歓迎します。ホテルはJAL、ANA、JRなどのパックツアーにも対応しています。東京(成田)からはJetstar、Vanilla AirなどのLCCもご利用になれます。ただし、10月の札幌は観光シーズンにつき、早めにご予約をお勧めします。
- ※ 会場では、年会費の納入もできます。

『創立25周年記念誌』が完成しました

A4判・110ページ・2015.8.25発行。会誌POLEをもとに2004～2014年の本会の活動をまとめました。1.協会の歩み、2.音楽、3.映画、4.交流の歴史から、5.北海道とポーランド、6.さまざまなエッセイの6章から成り、巻末に「会誌POLE第54～83号目次」と「北海道ポーランド文化協会活動年表 2004～2014年」を添えました。創立15周年記念誌につづき、協会の歴史と多様なポーランド情報が満載です。

会員には本号とともに1部お届けします。そのほか1部 1,000円のご寄付でお分けしますので、お知り合いにもご紹介いただければ幸いです。追加分は、総会・祝賀会の返信用ハガキに記入していただくか、左上に記載の Fax/e-mail(安藤)あてにお知らせください。郵送か、総会・祝賀会でお届けします。(会長 安藤厚)



第29回定例総会・出版祝賀会報告

2015年10月17日(土)ホテル札幌ガーデンパレス4F真珠の間にて、第29回総会および『創立25周年記念誌』出版祝賀会が開催されました(総会 16:00~16:45、写真撮影 17:00~、祝賀会 17:15~20:00)。総会には会員18人が出席し、全議案が承認されました。祝賀会には日本人32人、ポーランド人と家族25人が参加し、音楽と料理とお酒で交流を深めました。(総会議長:塚本智宏)



(前列左から) 富山氏、コグト夫妻、小笠原副会長、ブワシチャック所長、安藤会長、霜田副会長、國谷、田口、木村 各氏

第1号議案 2015年度(2014.10-2015.9)活動報告
(報告:安藤厚)

1. 第28回定例総会&懇親会 2014年10月31日(金)
18:30~総会、19:30~懇親会、北海道大学クラーク会館3F国際文化交流活動室、参加者:総会17人、懇親会・日本人17人、ポーランド人21人

2. 例会

- (1)《第70回例会》ヤン・カルススキ生誕100周年記念展示会「私はホロコーストを見た~ヤン・カルススキの黙殺された証言~」(ポスター[写真と解説]等)、2014年10月27日(月)~11月9日(日)、札幌エルプラザ2F交流広場、後援:ポーランド広報文化センター、記帳:約30人
- (2)《第71回例会》カシュブ詩人ヤロミラ・ラブダ朗読会、2015年2月5日(木)18:30~20:00、北海道大学クラーク会館3F国際文化交流活動室、参加者20人超
- (3)《第72回例会》朗読会「午後のポエジア」5、2015年6月13日(土)14:00~18:30、北海道大学クラーク会館3F国際文化交流活動室、出演:エヴァ・コヴァルスカ、新井藤子、レナタ・シャレック、小林暁子、アレクサンドラ・ヤヴォロヴィッチ=ジムニ、大

塚広介、マレク・クラフチック、小笠原正明、越野剛、大久保律子、熊谷敬子、ミハウ・マズル、安藤むつみ、花季汀蘭&汀美、菅原みえ子、霜田千代麿、リリアナ・コヴァルスカ、河村恵李アンナ&明希カリナ、共催:ポーランド広報文化センター、後援:札幌市・札幌市教育委員会、参加者:約50人

- (4)《第73回例会》Concert~ピアノで奏でるポーランド~、2015年6月30日(火)19:00~21:00、時計台ホール、出演:(お話)薄井豊美、(ピアノ)高島真知子、安藤むつみ、名取百合子、横路朋子、協賛:ポーランド広報文化センター、後援:札幌市・札幌市教育委員会、入場者:150人
3. 会誌「ポーレ」発行 第84号(2015年1月1日)、85号(5月15日)、86号(9月1日)
4. 『創立25周年記念誌』発行 A4判、110ページ、2015年8月25日発行、300部印刷。創立25周年記念誌編集委員会:2014年7月9日、10月27日、12月9日
5. 運営委員会 2014年10月6日、2015年1月22日、4月6日、5月20日、7月29日、8月28日
6. 第29回総会・『創立25周年記念誌』出版祝賀会準備会 2015年8月10日、9月11日、9月24日

7. 後援／協力等事業

- (1) 〈後援〉さっぽろオペラ祭 2014／北海道二期会
創立 50 周年記念 オペラ「ショパン」、2014 年 10
月 12～13 日、札幌市教育文化会館小ホール
- (2) 〈協力〉ポーランドで生まれたアートマイムの祭典
「サイレンス・オブ・ザ・ボディー／Milczenie
Cialo」、2014 年 11 月 7～10 日、東京・両国シア
ターX(カイ)
- (3) 〈後援〉遠藤郁子デビュー 50 周年記念ピアノサ
イタル：北海道～パリ～そしてポーランド、2014
年 11 月 8 日 13:30～、札幌コンサートホール
Kitara 小ホール
- (4) 〈協力〉ポーランド映画祭 in 札幌、2015 年 2 月 7
日 14:00～『借金』1999 クシシュトフ・クラウゼ監
督、16:10～『イーダ』2013 パヴェウ・パヴリコフス
キ監督、札幌プラザ2・5、主催：ポーランド広報文
化センター、マーメイドフィルム
- (5) 〈後援〉北大祭 IFF2015 ポーランド料理テント、
2015 年 6 月 4～7 日、北海道大学総合博物館付
近、主催：北海道大学ポーランド人留学生会、協
賛：ポーランド広報文化センター
- (6) 〈後援〉*Kitara* のバースデイ：オルガン、ヴァイオリ
ン、合唱の共演で祝う 18 回目のバースデイ、
2015 年 7 月 4 日 15:00～、札幌コンサートホール
Kitara 大ホール、出演：マリア・マグダレナ・カチ
ョル(第 15 代札幌コンサートホール専属オルガニ
スト、ポーランド出身)ほか
- 第2号議案 2015 年度収支決算報告(10 ページのとおり)
(報告：佐々木保子、齋田道子)
- 第3号議案 2016 年度(2015.10-2016.8)活動計画
(提案：安藤厚)【第6号議案(会計年度変更)参照】
1. 第29回総会・『創立25周年記念誌』出版祝賀会、
2015 年 10 月 17 日(土)、ホテル札幌ガーデンパレ
ス4F真珠の間、総会 16:00～16:45、写真撮影
17:00～、祝賀会 17:15～20:00
 2. 朗読会「午後のポエジア」、2016 年 6 月頃
 3. コンサート
 4. 講演会
 5. 第2回東京例会
 6. 会誌「ポーレ」発行 2016 年 1 月、5 月の 2 回
 7. オンライン広報の強化
- 第4号議案 2016 年度予算(案)(11 ページのとおり)
(提案：佐々木保子)
- 第5号議案 2016 年度役員等案(提案：安藤厚)(新任*)
(会則第6条に基づく役員)
- 会 長：安藤厚

- 副 会 長：小笠原正明、霜田千代磨
- 運営委員：安藤むつみ、氏間多伊子、薄井豊美、大久
保律子、尾形芳秀、越野剛、小林美保、佐々木保子、
高橋健一郎、塚本智宏、富山信夫、中島洋、松井亜
樹*、アグニェシュカ・ポヒワ、ラファウ・ジェプカ
- 事務局長：小林暁子*
- 監査委員：齋田道子、栗原朋友子*
- (会則第15条に基づく事務局、会誌編集委員会等)
- 事 務 局：(事務局長)小林暁子*、(会計)佐々木保子、
(広報)越野剛*、(広報)尾形芳秀*、(渉外)ラファ
ウ・ジェプカ、(庶務)大久保律子*
- 会誌編集委員会：(委員長)氏間多伊子、(委員)尾形
芳秀、栗原朋友子、越野剛、ラファウ・ジェプカ
(会則第16条に基づく東京事務所)
- 東京事務所：(所長)霜田英磨、(副所長)熊倉ハリーナ*
第6号議案 会則および、会費についての細則の改正
(提案：安藤厚)

【会則の改正】(改正後)

第17条 本会の活動場所は、以下の通りとする。

〒060-0018 札幌市中央区北18条西15丁目3-19 安藤厚方

2016 年度(2015.10.1-2016.8.31)主な役員は以下の
通りとする。(省略：上記参照)

【会費についての細則の改正】

[1. 会計年度を9月～8月に変更](改正後)

2. 本会の会計年度は毎年9月1日にはじまり、8月31日
におわる。ただし、2016 会計年度は 2015 年 10 月 1
日にはじまり、2016 年 8 月 31 日におわる。(ただし書
きは、2016 年 9 月以降削除する。)

会費は、会計年度のはじめ(毎年9月)に納入す
るのを原則とする。

3. 年度途中に入会する場合には、初年度会費を、1～
4月入会は 2,000 円、5～8月入会は 1,000 円に軽
減することができる。

[2. 退会に関する規定の新設]

4. 会員から退会の申し出があったときは、運営委員会
に報告する。

普通会費を3年を超えて滞納した会員は、退会し
たものとみなす。

住所不明となった会員は、会誌等を通じて探して
も連絡先不明の場合は、退会したものとみなす。

会員の入会・退会は会誌等を通じて周知する。会
員相互の連絡を促進するため、会員名簿を会員に
配布することができる。住所、電話番号等の掲載は、
会員本人の同意がある場合に限る。

(2015 年 10 月 17 日改訂)



出版祝賀会の司会をして

祝賀会の幸福な記憶は徐々に薄れてゆきますが、司会を務めさせていただいた私たちの短い随想で、心の深いところで皆様と再び触れ合うことができれば幸いです。

(司会: ♠ラファウ・ジェプカ & ♥新井藤子=写真右=、写真: 尾形芳秀)



♥ 祝賀会の前に写真撮影=6ページ=。全員の姿をなんとか収めようと、ホテルスタッフの女性が勢いよくテーブルに上がり、会場に歓声が上がりました！

♠ ちょうど広報文化センターのブワシチャック所長が遙か東京からご到着。完璧なタイミングでしたね。

♥ 松井亜樹さんも、忙しいスケジュールの合間をぬって完璧なタイミングで到着、木村悠子さんのピアノ伴奏で「落葉松」を独唱♪会場のキャパシティを超える衝撃的な発声で、雨に濡れゆく曲の主人公の心象と天候が響き合い、変化してゆく情景に引き込まれました。その前には國谷聖香さん、田口綾子さんのピアノ演奏。この日がショパンの命日にあたるのに因んで、ノクターン、ポロネーズ、幻想即興曲と、有名な旋律も多く、自然と聴き入りました♪

♠ ポーランド人は海外に住むとショパンの魅力を数倍感じるといわれます。最初は少し疑っていましたが、日本に住んで、日本人の大好きなショパンの曲をよく耳にし、その不思議な魔法を感じ始めました。ポーランド恋しさから生まれた彼の曲を聴くと、懐かしい記憶が蘇ってきます。ポーランドで、いつもラジオなどから流れていた音楽が心に刻まれていて、子供時代にタイムスリップします。ポーランド人はみな一瞬実家に帰った気分になったと思います。

♥ 民族の精神性に及ぶいいお話ですね。

つづいてポーランド国歌「ドンブロフスキのマズルカ」斉唱♪=写真左下=これは「ポーランド国歌を日本で聴くことは殆どないので」といって実現したそうです。国歌は決して余興に歌うようなものではありませんが、実際に斉唱されると会場の空気がとても柔和になった気がします。

♠ 大変な戦いと血を流した祖先を連想させる曲で、最初はちょっと戸惑いましたが、ポーランド人にとっては希望を与える歌でもあるので、喜んで歌いましたよ。次回のイベントのプログラムにもぜひ「ドンブロフスキのマズルカ」を入れましょう。

♥ ぜひ！新たな恒例を作ってください。ジェプカさんが解説した、国歌が確立されるまでの歴史的経緯も、とても意義があると思います。

つづいて安藤会長の挨拶。いつもと変わりなく気さくでリラックスして、協会の運営状況から、協会にご貢献・ご協力いただいたあらゆる方々の紹介まで、会場の皆さんとのつながりがよくわかりました。

♠ 感謝を述べる機会はあまり多くないですが、ポーランド人はみな、会長ご夫妻をはじめ協会のみなさまのご活動のおかげで、北海道がより住みやすくなっています。本当にありがとうございます！

♥ こちらこそ。つづいて、ご来賓、ポーランド広報文化センター所長のミロスワフ・ブワシチャックさまの流ちょうな日本語のお祝辞=写真下右=。協会のもつ気がかりに、ずっと陽が差すようなお話でした。遠路ほんとうにありがとうございます！今後も東京のセンターのお力添えを得ながら、北海道にしかない魅力を前面に出していきたいですね。

♠ 全国レベルでも目立つ協会の動きがポーランド大使館にやっと高い評価を受けて、そのおかげで在北海道のポーランド人までサポートが届いていて、とても嬉しいです。

♥ さて、次は運営委員・事務局広報担当の尾形芳秀さんによる乾杯の音頭。ここから席移動や歓談が始まって、祝宴ムード満開でした♪



◆ 料理が美味しかったですね！お酒が入ると舌も柔らかくなって、参加者がより仲良くなって、色々な話をしました。次回のイベントのアイデア、お互いの友達の事情など、話題はさまざまでしたね。

♥ ジェプカさん、本当に楽しそう(笑)。私も！料理がとても美味しかった。そんな素敵な雰囲気の中、リアナさん、恵李アンナさん、明希カリナさんによる唱歌♪=写真右=回を重ねて歌い方や所作に創意工夫が表れて、朗読会の時よりもさらに上手でした。安藤むつみさんの清らかな伴奏で、女の子たちのあどけなさがさらに際立ちました。民族衣装もとてもよかったです。



◆ 民族衣装はやはりインパクトがありますね。所長が「次回ポーランド人女性の参加者は全員ミンゾク衣装を着るのだ！」と言ったのは冗談ですが、いいアイデアですね。僕もタトラ山地の衣装がほしい！

♥ タトラ山地は B・ピウスツキとも縁が深いから、私もほしい！盛り上がったところで、バルバラ・ナピエラワさんのギター演奏で=写真左・下左=、ポーランドのみなさんの大合唱「さあ、私の世界に色をつけて」♪80年代のバンド「2プラス1」は、男性二人に女性一人、日本ならドリカム風の構成の走りとか。



◆ 80年代の大ヒット曲でした。クラクフのラジオ局RMFのテーマソングで、「Magda M.」という大人気テレビドラマの主題歌なので、各世代が歌えると気づきました。歌いやすくて明るくていい曲ですね。

♥ 本当にいい曲でしたね。つづいて、スピーチもありました。まずカジミェシュ・コグトさん=写真右=の昨今の日本における「挨拶」「会話」の退行への強い訴えは、この会場だけで聞くのは惜しい内容でした。つづく亀枝延枝さんのお話では、旦那様のコグトさんとの馴れ初めから、当時のポーランドへの渡航の困難さやそれを乗り越えた人だけが体感できた、ポーランド人の誠実さ、あたたか



さがよく伝わってきました。次に富山信夫さん、小笠原副会長=写真右=の協会の年譜ができるほどの語り！時間が足りず残念でした。今後もこうして協会の歴史を学んでいきたいですね。



◆ こういうときポーランド人も勇気を出してスピーチをしてほしかった。コグトさんに感謝！



♥ 隣の人との会話にも声を大にして、耳を口元まで近づけないと聞こえない盛況の中、菅原みえ子さんの芝居仕立ての自作詩の語りと、霜田副会長=写真すぐ下=の轟くような詠い。途端に会場は水を打ったように静まり、耳を傾けました。盛り上がって騒がしくなるだけではなく、静まり返ることもあるのですね。

◆ 副会長の轟きは有名ですね。数年前うちの長男がびっくりして泣いてしまった(笑)。



♥ ミコワイ君=写真下右=にもスピーチで場を盛り立ててもらい、感謝！副会長の轟きは、まさに協会の魔除けですね。活況のうちに鶴の一声で一本締め、実に日本的な胸のすく閉会でした。

◆ 副会長にステージに呼ばれて「スト・ラット」(百年を)を歌って♪ポーランド的な閉会でもありました！

♥ そうでしたね！一本締めの前に、ポーランドのみなさんが壇上にのぼって再び大合唱♪会場は幸福感で一杯でした。

祝宴中、霜田副会長も「これまでは日本人が日本語だけで会を進行し、ポーランド人は見ているだけのことも多かった。こんなにポーランド人も日本人も盛り上がって言葉を交わす会も珍しい」と言っていました。長年の活動の積み重ねが実を結んで、いよいよ協会の名前にもある「文化」の交流が、より人間らしい体温を持ち始めたのでしょうか。

◆ そうですね！バイリンガルの司会も重要な一歩でしたね。お疲れ様でした！

♥ 私もポーランド語、ちゃんと勉強しなきゃ。ジェプカさんもお疲れ様！ありがとうございました！

